

## 黒の切り札亭 第1話「お魚を守れー!」

GM:皆さんは「のザルツ地方のルキスラ帝国の都市、シグノの街にいます

GM:「」は「黒の切り札亭」という冒険者の店があり、店主のトワーフ・フォリッジさんのお眼鏡にかなう冒険者しか所属できません。

GM:「」の店の特徴は、あまり特定のパーティーを持つ冒険者がいないという「」。

GM:つまり、依頼に合わせて随時。パーティーを組むんですね。

GM:なので毎回メンバーは変わります

GM:ぶっちゃけ、いろんなPCやプレイヤーの方に参加してもらいたいのでw

リン:(プレイヤー発言) ぶっちゃけたー!?

GM:あはは。では、「」でぶったん自己紹介タイム。

デューイ:「ん、僕からか?」

デューイ:「それじゃあ名乗らせてもらおう。僕はデューイ・メルヴィルというものだ。訳あって冒険者をやめている。よろしくやってもらいたいよ」

GM:えらそつー15歳の「」w

デューイ:(プレイヤー発言) すみません、のっけから失礼ですが、残念なことと思って生温かい目でお願いますw 世間知らずのおぼっちゃまなのでw

GM:本名の方は隠してることでもいいんですね?

デューイ:(プレイヤー発言) はい、そうです。皆さんも、あまり不快が過ぎたら言ってくださいね

ハサン:(プレイヤー発言) いえいえ、面白いですー

プリネ:(プレイヤー発言) 大丈夫!!--

クリス:(プレイヤー発言) 濃いキャラは歓迎!

GM:へデューイ 逆にじりがいありそう...(つづつづ)

デューイ:(プレイヤー発言) 優しい方ばかりでありますw GMはお手柔らかにw

GM:へGM はじな。では次の方。

リン:次はアタシかな?んらつと、「」にいる皆は始めましたよね?アタシはリネン・デア、今まで一緒に組んだ人達からはリンって呼ばれることが多いかな?」

GM:リルトラケンだ?

リン:あはは、あんまり頭よくないから魔法とかは使えないんだけどね。それでも薬とか使って手当てするのは得意だよ。」

リン:今日一緒に組むことになったのも何かの縁ってことで、アタシがみんな守ってあげるね。」

GM:へリン ビートルスキンにかばうかあ。固いなあ狙いたくないなあ。

リン:へGM (プレイヤー発言) 初期作成自前で防護点10点(練技込)は密かな自慢で「」わつ。

GM:では次ー

ハサン:「ヤアー・タビットのハサンだよーそして「」の小鳥(のヌイグルミ)が相棒のロブリアグス」

ハサン:「は、ゴロドリゲス、あつむ(ゴロ)」

ハサン:「ロビト:ハンター」

GM:腹話術WwW

プリンネ:(プレイヤー発言) 腹話術きたー……

ハサン:「どぶつわけでロビジャラーをやってるよ、よろしくー!」

リン:(プレイヤー発言) これはまた濃そつな人が。

デューイ:(プレイヤー発言) ハサンさんにちょっとロ」として質問よろしうですか？

ハサン:(プレイヤー発言) はいな？

デューイ:(プレイヤー発言) とても個性的な設定で面白いと思ったんですが、「見た目ちょっと違和感のある」タビットなんじゃないか……？

GM:設定:【両親から】自分たちは実の親ではない、そしてお前はたぶんタビットでもない」と聞かされた】うん、見たらわかるWwW

クリス:(プレイヤー発言) すい設定だW

GM:まあ、そこは魔法が何かだとも思っておけW

ハサン:(プレイヤー発言) 子供の頃からタビットだと思って育てられれば第六感くらい身に付くかなーと

GM:後天的に身につくんだWwW

リン:(プレイヤー発言) 重い話な気がするのに笑ってしまつのは何故でじょうね

デューイ:(プレイヤー発言) すまり、「あ、あれ……タビットって「んなんだっけ……？まあいいか」くらいに思ってたんですけどね……w

GM:まあ、魔改造とかもある世界だしWwW

ハサン:(プレイヤー発言) いやむしろ「W」から見てもタビットじゃんーと置いていただければW

クリス:(プレイヤー発言) この店「一般的なタビットがいなかったら、ハサンが一般的なタビットとして認識されるはずW

「さ、それはおかしいだろうWwW

GM:ちよつと変わったタビットとゴロ(ゴロ)だWwW

GM:どぶつかみんな怖くてその件については触れないWwW

デューイ:(プレイヤー発言) 承知しました、割り込んでしまつてすみません

ハサン:(プレイヤー発言) いえ、正直ツコミ待ちな設定なので、助かりました

リン:(プレイヤー発言) どうしよう。濃い人たちに挟まれて没個性になっちゃう

GM:了解。では次の方ー

クリス:「私はクリスティーナ・クライン。クリスでいいわ。」

GM:メイドさんー!(※クリスのキャラシート絵はメイド服である。)

クリス:「少し前にルロウド様の声を聞いたので、冒険者になることにしたんだけど

クリス:「親に大反対されて、ルマ湖群から飛び出してきちゃった。」

デューイ:(ピクッ)

GM: ハデューイ 琴線にふれるものがww

クリス: 「多少の神聖魔法と、料理は任せてー」

プリリネ: (プレイヤー発言) 新ジャンル神官メイドー

GM: ハクリス よし、「黒の切り札亭」でアルバイトよろしく。いま決めた

ハサン: (プレイヤー発言) 職が決まったw

GM: ハクリス そのかわり住み込みでいいからw

プリリネ: (プレイヤー発言) 待遇良しー…

クリス: ハGM 了解冒険に行つてないときは住み込みでのアルバイトですねw

リン: クリスちゃんついでにも「」のお店にいた子だよね？冒険もできたんだー」

GM: うん、もしクリスがPCとして参加できない時はお使いにでも出た「」と「」とww

黒の切り札亭NPCシステム誕生の瞬間である。(マジ)

クリス: (プレイヤー発言) お使いか、あるいは普通にウエイトレスで出つてくなくてもOKですww

GM: ちよびと隣のフエンティル王国とかww

クリス: (プレイヤー発言) 冒険者技能がないと危険な距離なお使いですねw

GM: ハクリス うん、だからこそ貴重。うっかり一般人には頼めない

ハサン: (プレイヤー発言) 酔っ払いにサニティとかフォースとかかけられる、優秀な従業員さんですねーw

GM: ハハサン これは思わぬ拾い物ww

プリリネ: (プレイヤー発言) ハイスペック従業員ー

クリス: (プレイヤー発言) GMのお役に立ててなによりです、自己紹介は以上ですね

GM: は。では最後ー

プリリネ: (プレイヤー発言) はー…

プリリネ: プリリネニデギゼた。よろしく」

プリリネ: 女 シャドウ「8歳 戦士

GM: シャドウかあ。……魔法効くかなあ。

デューイ: (プレイヤー発言) クールビューティーなシャドウきたー…

ハサン: 「あら、ついきり男の子かと」

プリリネ: 親を知らなくて、一人でさ迷つたところをナイトメアに保護されて、数年いっしょに「過」す。

プリリネ: そんな親代わりも、依頼失敗して帰らぬ人に。ほとんど口でぶらぶら冒険してます。

ハサン: (プレイヤー発言) 両親と田舎な人がいないw

デューイ: ハサン (プレイヤー発言) 確かにww

リン: 「アタシと一歳しか違わないのに大人だ。カッコイいなー」

ハサン: 「ロッド:キチヤイコトアルサー」

リン: 「おおー？ロッドちゃんも大人だあー…」

プリリネ: だけでも、知力の足りないスカウトなので、抜けてると「」もある

プラリネ：ファルシオン買ったために宿代飛ばすとかね！

プラリネ：以上ですー

GM：了解。ではシナリオ開始です

## 1. ようこそー！黒の切り札亭へ

GM：「これは冒険者の店「黒の切り札亭」

GM：時刻は昼前と聞いたヨリヨ

GM：さて、みなさんIDをぶつけてください。偶数なら店にいます

ハサン：1D6 合計：6 <6>

プラリネ：1D6 合計：1 <1>

リン：1D6 合計：3 <3>

デューイ：1D6 合計：2 <2>

クリス：1D6 合計：1 <1>

GM：じゃあ店に入るのはハサンとデューイね。

デューイ：「マスター！紅茶をくれ」

GM：へデューイ フォリッジ「おう、相変わらず威勢がいいなボウズ」

GM：フォリッジ「あつよ」(紅茶)

デューイ：「ふん…(スズ)…っん、まあまあかな」

GM：フォリッジ「お前さんみたいなのはブレンデーもいらんじやろ」

デューイ：「ば、バカにするなよーお酒だってちゃんと飲めるさー僕はお茶の素のままの味が好き

なよー」

GM：フォリッジ「ふん、じゃあ明日はブレンデー入りを出してやるわ。目を回しても知らんぞ」

デューイ：「む…の、飲んでやるっじゃないか…極上なやつを頼むよー」

背伸びが可愛いなあ、デューイ。

GM：プラリネとリンとクリスはなにしているところかなー？

リン：(プレイヤー発言) 寝坊して店にタッシユ中？

プラリネ：ぶんぶんぶん店を指指して歩いていきます「…宿泊まれなら」

リン：「うわわわわわー？もうお昼だよおーお仕事残ってるかなー？」とか言いつつ走ってます

プラリネ：「次の仕事探さないと…ファルシオン高いな」ブツブツ

クリス：クリスはマスターに言われて、買い物中でしょう。

GM：へ3人了解、じゃあ好きなタイミングで店に来てくれていいからね。

リン：「うちは大慌てで走ってるしたどり着くのは遅いだろっなあ(演出は後回し

プラリネ：店のドマンノブガヤ「たのモー」

GM: フォリッジ「おお。プリリネじゃないか。しけた面しておって。まあ砂糖水でも飲め」

プリリネ: 「フォリッジ殿、仕事をください。金が無い…」

GM: >プリリネ 「ん？仕事か？」

プリリネ: 「…甘い。コーヒーが好きなんだが」

GM: >プリリネ フォリッジ「じゃあ金払うんだな。仕事ならない」ともない」

プリリネ: >GM 「ああ、これを買ってしまつて金欠だ」ファルシオンチラチラ

GM: >プリリネ フォリッジ「ほほう、なかなかのものじゃないか」

プリリネ: >GM 「ああ、ずっと欲しくてたまらなくて…」

GM: >プリリネ フォリッジ「それで食い詰めてりゃ世話無いのう」

クリス: 店の裏口から帰宅し、軽く片付けてから表に出てきます。

GM: フォリッジ「おお、クリス。おかえり」

クリス: 「マスター、ただいま帰りました」

プリリネ: >クリス 「こんにちわ、クリス」

GM: >クリス 「じゃあ、買ってきた野菜は裏に入れておいてくれ」

ハサン: 「(野菜…食べたい…)」

クリス: >プリリネ 「こんにちはプリリネさん。ちょっと仕事してきますね。」と、また裏に引込むね

リン: 店のドアを叩く「おはようございますーすーマスターいつもの下さいーもうお腹が空ですー」リン: 「あとあと、まだ何かお仕事残ってますか？」

GM: >リン フォリッジ「おお、リンか。ほい、リルトラケン定食」

ハサン: (プレイヤー発言) 共食いつばいネーミングだw

GM: (プレイヤー発言) >ハサン リルトラケンも満足のボリュームなのですw

リン: 「朝ごはん食べてなかったからもうお腹すいちゃって///」

プリリネ: 「仕事、欲しい早急に」ジリジリ

プリリネ: (こ飯も食べれない)泣き

クリス: そんなプリリネに、軽食を作つて持ってきます

プリリネ: >クリス 「なんて優しい方だ…」涙目

クリス: 「マスター、この分は私の給料から出しますね」ということで、3ガメル支払っておきます。

GM: >クリス フォリッジ「またそうやって甘やかす…」

プリリネ: >クリス 「仕事して返すから！待っていてくれ！」

クリス: >プリリネ 「期待してるわね」

クリス: (プレイヤー発言) ーちやって店の客の人気を集めているのですw

プリリネ: >クリス (プレイヤー発言) なるほどなw

意外と策士なクリスである。

GM: フォリッジ「仕事か。これにそこで野菜をにらんでるハサンも入れたら何とかなるかな？」

デューイ: 「なんだい、仕事があるのかい？」

GM:「デューイ フオリッジ」「つむ、今日は集まりが悪くてな。夕方になったら依頼板に貼ろうと思っただんだが。」

デューイ:「そうかいそうかい、記念すべき僕の初仕事だ。景気のいいのを頼むよ」

GM:「プリネ フオリッジ」「そのハサンも呼んできてくれ。5人なら行けるだろう」

ハサン:「何？仕事の相談かい？」

プリネ:「ハサン……？」の「人か？」とびびり……異様な風貌にちよつと退く

GM:「プリネ フオリッジ」「まあ、」つ見えてタビットだし腕は確かだ」

プリネ:「GM 「そ、そうなのか。タビットか」内心キョドッ

無理もない。

リン:「おう。今日はロッドちゃんも来てたんだ。おはよー」

ハサン:「んん」「ロッド:中風がブボスター」

プリネ:(ジヤムター……)

GM:「フオリッジ」さて、5人そろったところで依頼の説明だが」

GM:「フオリッジ」あ、クリス。お前も人数に入れてるんでよろしく」

クリス:「フオリッジ」あら、私も必要となるとは珍しいですね。」

リン:「今日のお仕事はなんだろうな……。……ってええー！……クリスちゃんも一緒に大丈夫なの？」

クリス:「んん」「神官がちよつと出払ってるみたいね……」

リン:「そうなんだ。頼りにしてるね」

GM:「」からはざつと概要です

GM:「依頼は」のシグノの街から3日ほど歩いたサレブ村からです

GM:「この村は「マーモン」という川魚が特産の村なのですが、その貯蔵庫が荒らされた」と」

GM:「しかも村人によると蛮族の姿も見えたという」。

GM:「その」で近くの街である」の店に依頼が来ました。

デューイ:「ば、蛮族……」

GM:「報酬は一人 500G

プリネ:「ふむ。500G もあれば上等だ」やる気満々

ハサン:「と、とりあえずいくらか前金もらえないと、プリネさん3日分の保存食買えないよ！」

GM:「前金はそのうち 100G と往復分の保存食

ハサン:「良かったー」

リン:「アタシはつちばーん……もちろん受けるよ……」

プリネ:「助かったー！勿論私も受けるぞー」

GM:「詳しくは村の村長さんに聞いてください」とのこと。以上です。

デューイ:「3日も歩くのかい……馬車でも借りられたらいい……」

GM:「デューイ フオリッジ」借りるのは構わんが、金は払えよ」

デューイ:「ふんっ……馬車なんて安いもんじゃない……か……(財布見て)今日はちよつと歩きたい気分かな」

GM:「オロジジ「よーっ、やあ」の依頼はお前たちに任せろぞ」

プリリネ:「まあ任せしつて」キリッ

デューイ:「やっ、やんね」

プリリネ:「ありがたうありがたう」

GM:「他に買いたいものがあつたら買ひ足してかまいません。

一回:(プレイヤー発言) はーん…

## 2. サレブ村の依頼

GM:「では3日がたちました。サレブ村です。

デューイ:「っ、疲れた…」

プリリネ:「…着いたな、やっ、や」

ハサン:「ロビィ:サナクサグー」

クリス:「道中が無事でなによりです」

リン:「「リ」が、えーっ、と…サレブ村？ だっけ。疲れたねー」

GM:「ハリン、おっ、お」

リン:「ハGM (プレイヤー発言) 唯一の知力1桁だからしょうがない。

一回:(プレイヤー発言) ⑨「やっ、しょうがない」

GM:「(プレイヤー発言) まあ、知力はともかく機転はプレイヤー次第だから」

デューイ:「(プレイヤー発言) ああ、リンのキャラが固まってしまった」

リン:「(プレイヤー発言) もうキャライメージが固定されていく

「これ以後、リンの知力⑨は」とある「と」にネタになる羽目になるのであった…。

GM:さて、村人たちはみなさんを遠巻きに見てますが、依頼した冒険者とわかると村長の家に案内してくれます。

GM:村長「おお、あなた方が黒の切り札亭の冒険者の方々ですか」

プリリネ:「ああ、そうだ。よろしく頼む」

GM:村長「お願ひです、この村の特産品である【マーキン】の「ジュ」です」

プリリネ:「ふむ、ふむ」

デューイ:「あれはうまいな。ムニエルとか」

GM:「は。マーキンは冬に採れる川魚でして、身もおいしいんですがそこから採れる卵は高級食材として重宝されてます」

プリリネ:「卵は食べたこと無いな…」ボーン

クリス:「。。。どう調理しようかなあ…」

リン:「「リ」きゅーっ、やんね…」ツェリッ

デューイ：(高級だったのか…)

プリリネ：>デューイ (プレイヤー発言) ほっちゃんめー

デューイ：(プレイヤー発言) >プリリネ HAHHA

GM：村長「J」の村には昔【剣の迷宮】で氷と化した洞窟がありました」

GM：「その一部を氷室としてマーモンを保管して、夏に出荷しております」

プリリネ：「それはまた、すげえところに保管してるな」

デューイ：「なるほど、だから年間通して食べられるんだな」

GM：「既に迷宮の魔剣は持ち去られ、入り口くらいしか残っていないのですが、先日大雨が降りまして。ちっちゃら中の一部が崩れ、天然の洞窟とつながってしまったようなのです」

GM：「しかも運の悪いJとJ、そこに蛮族が住み着いていたらしく、保管してたマーモンを大量に持ち去ってしまったのです」

プリリネ：「食いつ逃げたな。それは許されなう」カリ

デューイ：「蛮族が…ロケリ」

GM：「皆さんはマーモンを取り返すか、最悪、蛮族を退治して氷室を使えるようにしていただきました」

GM：「洞窟までは村の者に案内させますので」以上です。

リン：「んやま…許せなうもねー」

プリリネ：>リン「あぁ金は払わなうとなー」

ハサン：「何日前かの話ナゲスカー。」

GM：>ハサン「1週間かぶるまです」

GM：まあ、その入心は枯れても剣の迷宮の効果とつたところでしょうか。氷は解けるのに10日はかかりませ。

ハサン：「オーフ。じゃあ急がなうとタベラレチャウネー。」

プリリネ：>GM「ぶむ…蛮族の種類はわからないだろっか？」

GM：>プリリネ 村長「残念ながら…見た人はセージ技能ないうえに暗かったので慌てて逃げたぞ」

プリリネ：>GM「ぶむ。いやありがとっ」考え込む

クリス：「とりあえず、現場を調べるのが基本でしょっか？」

ハサン：「じゃあまだ蛮族が「うち」に出てきたりはしてない」デスネ」

GM：「は、扉に鍵かけてますので」

GM：「特になければ現場に案内するけど。」

リン：(プレイヤー発言) 今聞いた情報を元にリンが魔物知識判定を…(…)…多分ミノタウロスの群れだね…

デューイ：(プレイヤー発言) >リン 逃げようーww

プリリネ：「ミノタウロスだどー…」

GM：(プレイヤー発言) >リン 勝手に振ったふりでのーンロで50点はあげませんよwww

結局「まずは現場を調べないと、手の打ちようがない」ということで、氷室に向かうこと。



GM:じゃあ移動するね。案内は村の若者。

GM:では洞窟。

ハサン:「さすがに手入れが行き届いてますねー」

GM:えーと、状況を説明しますと、冷気を逃がさないためと、獣除けのために洞窟には鉄で補強した木の扉。しかも門と南京錠のダブルロック。

GM:したがって、中から出て「おつ」としたら扉を壊さないで無理。でも扉は無事。

GM:つまり、蛮族はまだ出てきてないです。

GM:鍵は若者が持っています。

全員で聞き耳や畏、足跡などを調べるも、異常は無し。

リン:「あなた達は既にー方向から包囲されていますーすべにとー」してくださー」

プリリネ:「ウー」ー。こらー」

GM:ハリン、囲んでないMMM

クリス:ハリン「このあたりには敵はいないと思いますよ。」

リン:(プレイヤー発言) とりあえず畏あっても物理トランプなら大丈夫だろうしわっちが前に？  
ハサン:「バックアタック念のため警戒して、プランスン後ろにカサー」

相談する11200分。

GM:じゃあ隊列は、1列目がリンとクリス、2列目がハサンとプリリネ、最後尾がデューイでOK?

GM:明かりはプリリネのファルシオンとクリスのランタンね??

GM:戦闘になったら主動作で置くなら無事、補助動作で投げ捨てるなら割れるけどいい??

クリス:(プレイヤー発言) 戦闘で武器を使わないから問題ないよー

プリリネ:(プレイヤー発言) ですねー

GM:ハクリス、そか。じゃあ持ったままでもダメージ受けない限りは壊れない」でしよう。

GM:ダメージ受けたらダイスの神様に聞くわww

ハサン:(プレイヤー発言) うんうん

クリス:「ルロロウド様、今日も加護をお与えください。」と、ラックを詠唱

クリス:2D6+5 合計:9 <22>+5

リン:(プレイヤー発言) キャンブルの神様ぎりぎりっすね

プリリネ:剣。ピカッ

リン:「どっげきーー」

GM:では、扉を開けます。ガチャガチャ。

GM:若者は村に帰ります。「皆さんへ」無事でー」

### 3. 初戦闘!

プリリネ:「ちびっこなってるのか」

デューイ:(「ヒクヒク」)

リン:「ちびっこもーちびっこもー」ガガガ

ハサン:(「プレイヤー発言」)なんとなく、村人に閉じ込められそうな気がしてた

プリリネ:「GM「ああ、君も気を付けて」」

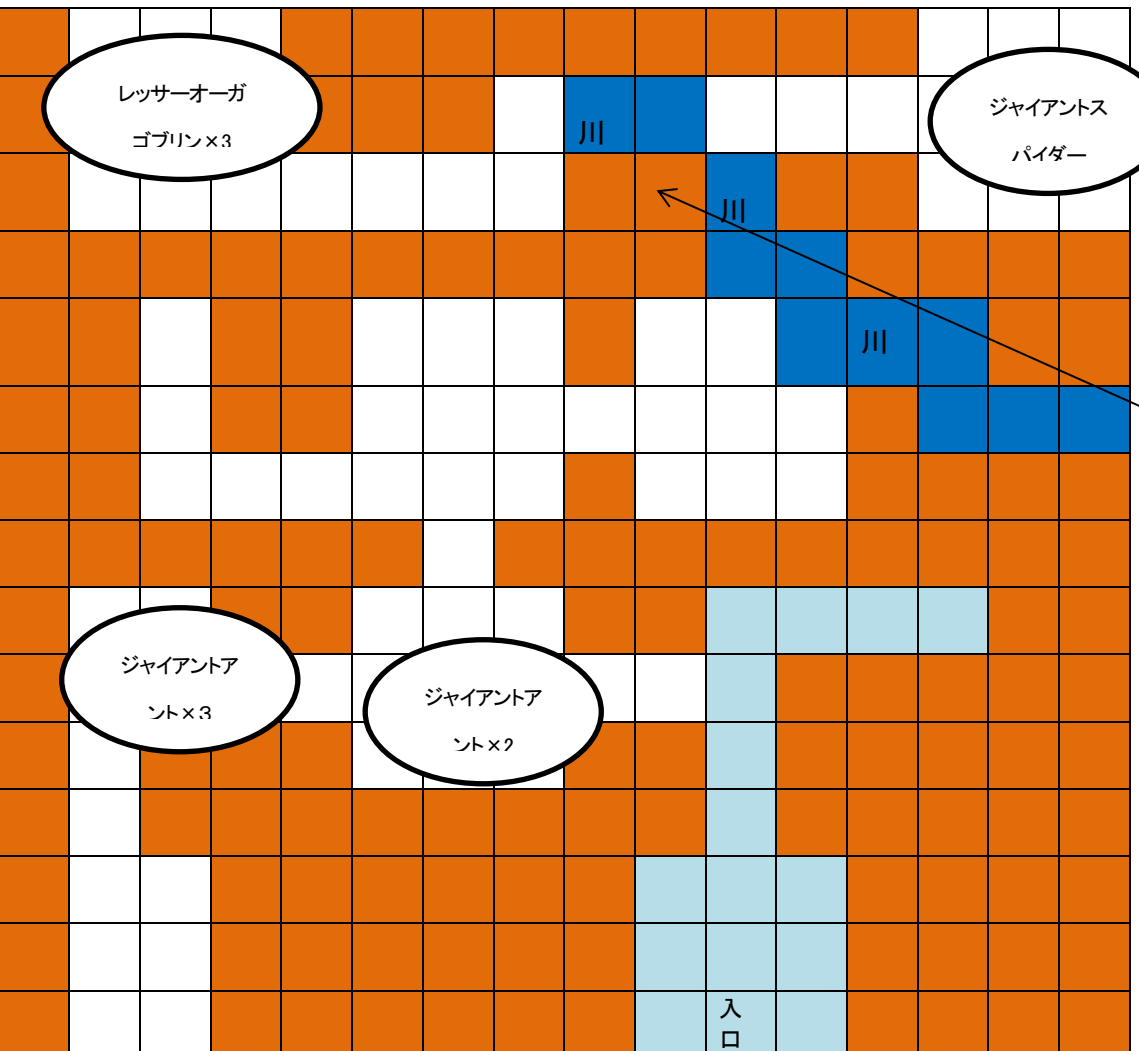
クリス:「蛮族と入れ違いにならない方がいいのですが…」

プリリネ:(「プレイヤー発言」)「ハサン 怖いなそれは

GM:「ほ、リリ」からダンジョン」。

GM:MAPを「」覽くたれど。

(※GM注:モンスターや奥の方の構造は、Pにはわかっていません)



フリリネ:(プレイヤー発言) はーいー

デューイ:(プレイヤー発言) うよいよかー

GM:入り口近くは足元凍ってます

フリリネ:(プレイヤー発言) 滑るなこれはー

GM:今君たちがいるのは氷室。マーモンは残されてません。

リン:「うっわー、寒いと思ったら凍ってるよ。」

フリリネ:「してるだよ」

フリリネ:「マーモンも無くな」

GM:足跡は凍ってて残ってませんが、引きずった位ならあるかも。

クリス:「水中なら得意なのですが、氷上はちよつと…」

フリリネ:(プレイヤー発言) 探索だー…

リン:「寒いと眠くなるよねっ」

デューイ:(プレイヤー発言) ハリン 爬虫類 w

GM:足跡追跡判定(スカウトorハンジヤー+知力B+2D)

フリリネ:2D6+2 合計:9 <1,6>+2

ハサン:2D6+5 合計:9 <3,1>+5

リン:2D6+2 合計:10 <4,4>+2

クリス:2D6+4 合計:10 <1,5>+4

デューイ:2D6 合計:11 <5,6>

リン:(プレイヤー発言) コリメ最強説再び

ハサン:(プレイヤー発言) 平目が一番高い件

フリリネ:(プレイヤー発言) すげえ

デューイ:(プレイヤー発言) なんか「めん…w

GM:10以上で分かります。よく見ても1匹じゃない。

デューイ:「少なくとも一匹以上いるな」

フリリネ:「わかるのかすっげえなー」

リン:「あつたーあれとーこれとーそれもかな？いつぱいあるねー」

デューイ:ハフリリネ 「ぶ…ふん…僕にかかれば「れくらう簡単や」///

フリリネ:ハデューイ 「おまえすっげえな」ニコニコ

デューイ:ハフリリネ 「ん…」///

クリス:「やはり複数での犯行でしたか」

GM:ただ、5匹もいないんじゃないかな？くらいはわかる。

GM:さて、まっすぐ行くと凍ってます。ただ、左の壁が崩れ、奥が岩肌。こっちは凍ってない。

フリリネ:「繋がってしまっただヨッろか？」キョロ

ハサン:「Jの辺りが崩れたヨッスチズネー」

リン:「あつちの方があつたかそつうだし」Jで曲がるつよー」

クリス:「Jのあたりに足跡はありませんか？」

GM: < クリス 引きずった跡は左に続いている。

デューイ: 「やっぱり左か… 蛮族も寒いだろうっしな」

クリス: 「辿れるだけ足跡を辿ってみまじょう」

プリリネ: 「そうだな」

リン: 「れっじー」

GM: 奥が広がってるっぽく。暗くても見えなそう。

クリス: (プレイヤー発言) 暗視持ち

GM: < クリス そうだったぞうだったwでは何か動いてるのが分かります。

プリリネ: 「暗視」ギラッ

リン: 「ギラッ」(見えてなそう)

デューイ: 「暗く」

プリリネ: 「リンも見えるのかすっしな」

デューイ: 「えっなにが見えるのかっ」

リン: 「アタシくらゐになると」れっじーもゆーもゆー」

プリリネ: 「最近のリルトラはハイスペックだな」感心

GM: 大きさはヨくらゐ。もっとう近づけばはつきり見えるかも

デューイ: (プレイヤー発言) なんかにいるーw

プリリネ: 「蠢いてるな…何か」

クリス: 「何かありますね…230m先でしよっか」

リン: (なんかいるのか…)「カサカサっしてるよね」(適当)

ハサン: 「もっちゅっ近づいてみまじょうか。静かに」

GM: 同じものが2体。魔物知識判定どうぞ。セージ技能レベル+知力B+2D

ハサン: 2D6+5 合計: 12 <3,4>+5

プリリネ: 2D6 合計: 3 <2,1>

リン: 2D6 合計: 10 <4,6>

クリス: 2D6 合計: 8 <3,5>

デューイ: 2D6+4 合計: 13 <6,3>+4

デューイ: 「あ、あれはっ」

GM: 6でわかりますね。シャイアントアントです。

デューイ: 「あれは…シャイアントアントだー」

GM: べ、ハサンとデューイが弱点も抜きました。

プリリネ: 「あれ、蟻かっ」

GM: では改めて隠密判定(スカウト+レンジャー+敏捷B+2D)

リンとデューイが失敗。

GM: 普通に気づけられました。では戦闘に入ります

クリス：(プレイヤー発言) 隠密は金属鎧へナがはいると厳しいね  
リン：(プレイヤー発言) ねー。

GM：では先制判定。(13,13)そちらからー

デューイ：「口から吐く酸に気をつけるー」

リン：「酸だー……かかってリリヤーー」ブブブ

プリリネ：「前にいくぞー」ファルシオン振り回したくてたまらない

GM：あ、先に補助魔法かけなくていい？

デューイ：「たかが蟻」ヤキー」

ハサン：「蟻だし、MP温存ブライナー」

リンとプリリネが前衛。残りの3人が後衛という陣形。

デューイ：(プレイヤー発言) まずは前衛の先生方おねがいますw

プリリネ：(プレイヤー発言) 私から行ってもいいですかー？

GM：へプリリネ どうぞ。回避も9

プリリネ：「光るファルシオン受けてみるー蟻ー」

プリリネ：(プレイヤー発言) 必殺攻撃宣言 Aにいきますー

GM：了解。ヤキー。

プリリネ：2D6+5 合計：8 <2,1>+5

GM：5,5コー

ハサン：「ま、まだ武器に壊れてはな」ブラスナー」

プリリネ：「蟻……かわされるなんて……」シミックー

リン：(プレイヤー発言) プリリネにかばった宣言して盾振り投げて槍両手持ちしてAにリリヤー

GM：了解。回避も9

リン：2D6+3 合計：13 <4,6>+3

リン：「へ、5,5コー」

GM：逝った。ダメージくれたぞ

リン：R30C10+6 合計：15 <6,3> = <9>+6

クリス：(プレイヤー発言) 弱点でもぶっ+2をれませぬ

ハサン：「ロシエ、グッブロー」

GM：えーぶ、シキヤイメントの防護点が3、HPが9だから……一撃で死んだ！？

プリリネ：(プレイヤー発言) ちすがーリルトラ……

デューイ：「な、なかなかやるじゃないか」

プリリネ：「か、リリヤー」

リン：「ネ、く、ー」

クリス：「か、リリヤー」

GM:後衛は何もしない??

ハサン:(プレイヤー発言) 踊ってます

リン:(プレイヤー発言) ハッスルダンスだ!

デューイ:(プレイヤー発言) うーん、じゃあもう一匹にエネボ撃ちます

デューイ:「僕だつてー!」

GM:了解。行使判定どうぞ

GM:抵抗は 9

プリンネ:(プレイヤー発言) やっちゃえー!...

デューイ:2D6+5 合計:8 <2,1>+5

GM:抵抗。

プリンネ:「あの蟻じぶんじゅん」

デューイ:「んん...」

クリス:>デューイ「次こそ集中しましょう!」

GM:じゃあ、リンの手番、行きますね。奇数だったら酸はリン

GM:1D6 合計:1 <1>

プリンネ:(プレイヤー発言) おおっと

デューイ:>クリス「あ、ありがと!」

GM:対象は、どっちにもリンかな?

プリンネ:(プレイヤー発言) かつよすぎる背中

GM:>リン 生命抵抗判定。目標は10

リン:(プレイヤー発言) 特殊能力って庇えたっけ?とも思わないでもない

ハサン:(プレイヤー発言) 無理みたい

クリス:(プレイヤー発言) かばうのページ見てみると、魔法や特殊は無理だね

プリンネ:(プレイヤー発言) ですね!

リン:(プレイヤー発言) というところでダイスの神によって決まる??

GM:>リン そうなのかな??じゃあ、ダイスで決めよう。123でリン。456でプリンネ

プリンネ:ゴクリ

GM:1D6 合計:2 <2>

GM:>リン じゃあリンだった??

リン:(プレイヤー発言) エンゾロチエックだ!

リン:2D6+7 合計:17 <6,4>+7

クリス:(プレイヤー発言) っええ??

プリンネ:(プレイヤー発言) っもすべぬ

リン:(プレイヤー発言) わーい

GM:ちえ、効果なし。そちらの手番。

デューイ：(プレイヤー発言) すげいなー

フリリネ：「発当てたし…」

リン：「やったれー！」

クリス：「今度は大丈夫ですよ、がんばってー！」

フリリネ：(プレイヤー発言) では！残った蟻に普通に攻撃…！

フリリネ：<クリス「がんばるー！」

GM：了解。回避は 9

フリリネ：2D6+5 合計：16 <5,6>+5

GM：あたったー。

フリリネ：ダメージ行きますー！

GM：よしぞ

フリリネ：R28C10+5 合計：21 <[5,6],[1,5]> =<10,6>+5

フリリネ：「でりゃあああああああ」

クリス：(プレイヤー発言) 回ったー！

GM：粉微塵MMぶっしやああああー！

フリリネ：(プレイヤー発言) 私はやったぞー…！

デューイ：(プレイヤー発言) すげーオーバークルだ…

リン：(プレイヤー発言) 南無ー

クリス：<フリリネ「やりましたねー！」

フリリネ：「ファルシオン最高…」ニヤ

GM：はぶ、2匹やまっぶつたれましたー。

#### 4. 洞窟の先に待つ8本足

ハサン：「倒したのはいいけど、魚持って行ったのはコイツだやチナチスナー」

デューイ：「蟻って魚食えるのか？」

フリリネ：「蟻は魚食へなすよな。」

戦利品を剥いでる間に、リンとハサンが部屋を探索するも、目立った物は発見できず。

クリス：(プレイヤー発言) となると、部屋の出口から先を覗くんですけど

GM：よしちから覗く？」

リン：「ジャーめーときは、棒を立てして…」

フリリネ：<リン「棒を立ててるのか？」>ふむ「探索苦手で勉強中

リン：「倒れたほうに棒を全力で投げる。」

プリリネ：「むじ…そうなのかな？」首傾げ

クリス：「リン」そんな探索方があったなんて…勉強不足です」

デューイ：「プレイヤー発言」⑨が拡大していく…w

プリリネ：「プレイヤー発言」危ないなw

GM：出口まで行けばちよつと先は見えます

プリリネ：「結構…広そうだな」

デューイ：「プレイヤー発言」ふむ…

リン：「面倒だしそのままですもー…」

GM：左に進むと、暗がりで見やいアントアントが寝ていますw」なんと3匹。

GM：部屋に入るくらい近づかないと起きる気配はない。

プリリネ：「また蟻…」コッ」

デューイ：「…引き返して別の道も見てみるか？」

リン：「しかしそつちに蜘蛛がいたら大変な」エロ…？」

プリリネ：「襲つて」なの倒すのも気がひけるな」キョッ」

GM：入ったら隠密判定だからね。

クリス：「目的は蛮族退治です」…」は「先ずおいておきません？」

デューイ：「全員が成功する確率は低いしな…」

プリリネ：「うむ。上を見てみよつ」先ず」

リン：「帰りに襲われませんよー」」

デューイ：「リン」不吉な」言つてなも」

GM：じゃあ上の広場。」」は特」何もな？」

プリリネ：「」ちらは何も」な？」

クリス：「足跡を探してみまよつか」

GM：OK、足跡判定w」ん？」

リン：「な」かあるかなー？」

プリリネ：「探そつ」

デューイ：2D6 合計：8 <4,4>

リン：2D6+2 合計：11 <4,5>+2

クリス：2D6+4 合計：12 <6,2>+4

ハサン：2D6+5 合計：15 <4,6>+5

プリリネ：2D6+2 合計：14 <6,6>+2

プリリネ：「プレイヤー発言」きたー…」

クリス：「プレイヤー発言」クリティカルきた！

ハサン：「プレイヤー発言」ウー…」

リン：「プレイヤー発言」荒ぶるダイスの神

デューイ：「プレイヤー発言」ナイス…」

プリリネ：「プレイヤー発言」やっとなスカウトぽつ」



GM:じゃあわかった。足跡は右に続いている。

プリリネ:「右か…」

GM:あと、プリリネとハサンはそろそろ足跡が4匹分と5匹目ともわかる。

プリリネ:「しかも、四匹もいるのか」

クリス:「とりあえず覗いてみましょー」

GM:じゃあ、その先は…壁から水が流れて川になっている

デューイ:「まさか…サハギン?」

プリリネ:「川…?」んなと」る」」」

クリス:「足跡があったのに居ない…川を渡ったのでしょーっか?」

リン:「わーい川だー!」

GM:向うに跳ぶなら幅跳び判定(冒険者レベル+敏捷度BAND)ね。目標値は10。

プリリネ:「渡るしかないか?」

GM:あ、エルフならそのままじゃぶじゃぶいけますけど。

クリス:(プレイヤー発言) 一人はリンが抱えて飛べる気がする

プリリネ:(プレイヤー発言) 飛べばいいよね…

リン:(プレイヤー発言) 設定上は20kgまでいけるよ。

GM:なるほど。じゃあ、リンが抱えて飛ぶならわたれてOK。ただし、一人につき風の翼は10分使ったリムにするよ

ハサン:(プレイヤー発言) 20kgなら全員いけるかね?

GM:全員抱えるにはちよつと狭い。岩壁避けながらだから、全速力が出ないと思って。

プリリネ:「私は飛べそうだが…」

デューイ:(プレイヤー発言) クリスにロープを渡してもらって、それにつかまって渡るといっつのは?

GM:クリスが進むなら、エルフだし問題なく進める。

クリス:冒険者セットからロープを取り出して、ロープの片側をリンに渡して、もう片側を持って警戒

しつつ進んでみます

クリス:あ、ランタンは川を渡る前に床に置いてます

GM:了解。

GM:じゃあわたれた。特に何も無い。

クリス:顔を出して左右を覗いてみる。地形はどつなってるかな?

GM:相変わらずの岩肌だね。右は、通路が続いている。

GM:左は、ちよつと折れ曲がってやっぱり通路。

GM:あと、左は川の続き。岩壁の中に続いている。

クリス:暗視で見える範囲に敵がいらないなら大丈夫かな、みんなを呼ぶよ

クリス:「とりあえず、ここに敵はいないみたい」

デューイ:「うう…水に濡れなきゃいけないのか」

GM:皆を呼ぶっ。ロープ伝うなら目標値は8でいいよ。

GM:最後の一人は10だけど…ってリンが飛ぶかww

ハサン:「じゃあデューイ君はリンさんに運んでもらって、後は気合とロープで渡りまじょうか」  
デューイ:「お、そうかい。悪いね、よろしく頼むぞ」

リン:(プレイヤー発言) ハサン大丈夫なのか。

クリス:(プレイヤー発言) <デューイ> お姫様だっこで運ばれるんですねわかります

ハサン:(プレイヤー発言) フヨイフヨイ

GM:じゃあ、各自判定<リン>

ハサン:「じゃあ行こう」

GM:幅跳び判定(冒険者レベル+敏捷度B+2D)、目標値は8。

ハサン:2D6+4 合計:9 <4,1>+4

GM:じゃあおね。渡れまじた。

ハサン:「悔れなご奴げツター」

リン:2D6+5 合計:10 <2,3>+5

プリンネ:「ムゴヤッ」

クリス:<プリンネ>「さすがに身軽ですね」

リン:「殿前、アタシたちも行きまますよー」

デューイ:「じゃあ快適快適。くるじゅうなご」

ハサン:「ヤゴツター」

リン:(プレイヤー発言) リンタン拾ってデューイをお姫様だっこして飛んで〜

プリンネ:(プレイヤー発言) きゃーかつじじー…

デューイ:<リン>「うん、苦勞。帰ったらうまいもん驕ってやるぞ」

リン:「わーい、マーモンの卵食べてみたいですよー」

GM:全員渡れまじたね。リン、風の翼ーラウンダ減らしておごつね。

GM:さて、左と右、どっちに進む？左にはまた川が流れてるけど。

リン:(プレイヤー発言) 川後回しにして右？

クリス:(プレイヤー発言) ですね、全員で行けるところから行きまじょう

ハサン:(プレイヤー発言) うんうん、次は溺れる気がする

GM:それじゃあね…

GM:でっかい8本足がお出迎え。目がありましたWw

プリンネ:あきああ

デューイ:(プレイヤー発言) 八本足！？

リン:「タ〇バガニだー」

プリンネ:「うまそうだー」

デューイ:「絶対嫌っ…」w

GM:魔物知識判定 セージ技能レベル+知力B+2D どぞ

クリス:2D6 合計:11 <5,6>

ハサン:2D6+5 合計:13 <6,2>+5

プリンネ:2D6 合計:9 <4,5>

デューイ:2D6+4 合計:11 <4,3>+4

リン:2D6 合計:5 <3,2>

GM:ハサンが弱点見抜いた。シヤイアントスパイダーですね。体長2E。

フリリネ:(プレイヤー発言) ハサンさんかっ!」

デューイ:「うげ…気持ち悪い」

GM:弱点は炎ダメージ+3

ハサン:(プレイヤー発言) 糸、糸に巻かれて死ぬんだよおおお

フリリネ:(プレイヤー発言) うや——

GM:「キンジャー…」と威嚇しています。足元にはくっつか骨になった亡骸も。

リン:(プレイヤー発言) めとめがあっ!瞬間でーきだと気づいたー

GM:ハリン 33333333

フリリネ:「これは、強弱つな蜘蛛だな」

クリス:「速攻で仕留めなごうまもごうま」

クリス:(プレイヤー発言) ハリン 333

リン:「ただ…螫族じゃないから」これもはずれ?」

GM:「キンジャー…キンジャー…」

フリリネ:「つむ…む」くるんだ螫族」

リン:「がおー…がおー…」

ハサン:「あの骨螫族じゃな?」

クリス:「」の蜘蛛に食べられちゃった?それとも他に道が…?」

GM:あ、それはちがうとわかる。明らかに骨格が違う。

GM:服とかも解けてポロポロになっている、人間の骨ですね。

デューイ:「そんな」よりも目の前の敵だよオ——…」

デューイ:シュー(血の気の引く音)

GM:ズン、ズン、ズン

デューイ:(プレイヤー発言) やっちまおう

フリリネ:(プレイヤー発言) 村人のところまで行くなら倒すけど

ハサン:(プレイヤー発言) サクッと倒しましようか、人に被害出てるし

リン:(プレイヤー発言) OHANASHI(物理)でわかってもぶっ

クリス:(プレイヤー発言) 逃げようにも、川があるから逃げられなさそうだし、倒すしか?

フリリネ:(プレイヤー発言) 倒すか★

GM:OK、じゃあ戦闘です。

GM:まずは先制判定。「ちらほら10。(1)2(1)3)どっぞ、そちらから」

クリス:味方全員へフィールドプロテクションー

クリス:2D6 合計:4 <1,3>

GM:ハクリス かかりました

ハサン:「アリカター」

クリス:「まずは守りを固めます」

プリリネ:「恩に着るわ」

GM:各自、攻撃くらのとを1点引いて計算してくださいね。

ハサン:前線エリアにタークミスト

ハサン:2D6+6 合計:13 <2,5>+6

GM:かかりましたー。以後、回避が-2かあ。

ハサン:「ロシユ:フハガツバル隠蔽術チー」

リン:「まぢまぢする...」

プリリネ:「つむ。では行くぞ」たたっ

GM:まあ、かかっジョーっ

プリリネ:(プレイヤー発言) 補助でキヤッツアイ使用！

プリリネ:(プレイヤー発言) 必殺攻撃宣言！蜘蛛に攻撃！

GM:プリリネ、MP9しかないのか。連技3回しかつかえないじゃん

プリリネ:ハGM (プレイヤー発言) うんまあね

プリリネ:「蜘蛛、覚悟ー」

GM:回避は 9 キヤッツアイはそちちらぶ

プリリネ:2D6+6 合計:13 <3,4>+6

GM:あたり。ダメージ1トちぶ

プリリネ:R28C9+5 合計:11 <4,3>=<6>+5

GM:10 死ぬふつた。

プリリネ:「むっっ」

リン:(プレイヤー発言) ボートル使って移動してかばうかけて尻尾ー

GM:はぶ、ムンネ

リン:2D6+4 合計:15 <5,6>+4

リン:(プレイヤー発言) くっ。槍ぶちかった。

GM:あたり。ダメージ2ムンネ

リン:R11C12+6 合計:9 <[3,4]>=<3>+6

GM:8点。生き残ったー

リン:「プーッー」

プリリネ:「まただっっー」

GM:「まぢまぢまあああー」

デブーイ:「お待ちかねっくくっっー」

GM:しまった、まだいたんだっつたΣΣ

デブーイ:(プレイヤー発言) 「ハネボ」ごきますー

デブーイ:2D6+5 合計:15 <6,4>+5

GM:抵抗できなっら...まぢまぢくっつたー

デブーイ:(プレイヤー発言) ちっっー

デブーイ:R10C10+5 合計:9 <[2,6]>=<4>+5

デューイ：「くっスっ。」

GM：「ゴブリンを焦げるにおいがして……ずずーん

デューイ：「ヤア…」

クリス：「お見事！」

ハサン：「プレイヤー発言」Gっ

プラリネ：「かっ」「いいな…魔法！」

GM：「うっ、1回も攻撃できなかった……w」

リン：「くる」げー

プラリネ：「これは食べられないな」

デューイ：「これが実力さっ」ムアッ

やっ、戦利品を剥いでる間、被害者の遺体から500G相当の宝石を発見するデューイ。

デューイ：「リ、これは…」

プラリネ：「おおっやったな…」

GM：他は何もありません。蛮族の痕跡もなし。

リン：「だれかたすけてっ」

GM：「リン、かっ」んんんんん

クリス：「あわわわ」

プラリネ：「リン、おおっと解くぞー」「あっ」「あっ」

デューイ：「あーあーなにやっつてんだよもっ……ナイフで糸を切る

リン：「ありがとー、もう少しでミイラになるとっ」だったよー」

GM：「リルトラケンのミイラ……やっは鱗かなあ」

## 5. 最奥で待つもの

リン：「プレイヤー発言」さて次は……川でありますか

プラリネ：「プレイヤー発言」川だねー

デューイ：「（リンを見る）」

クリス：「前回同様、クリスが先行して様子を見てみます

GM：「クリス、了解。こちらもわたる分には問題なし。」

クリス：「さっ」「その先を」「っそり覗いてみる。前回同様、ランタンはリンのとっろにありますが

リン：「プレイヤー発言」」「は判定なしで進んでいいのだからっか……」

GM：「リン、あ、判定は前と同じ。目標値10」

GM：「リン、空飛ぶなら同じく一人につき風の翼1スね。

クリス：「先ほどと同様の方法で渡りましよう」

フリリネ:「つむ」

GM:△クリス ロープ作戦ね。なら目標値は8

リン:(プレイヤー発言) 帰りに何かがあるかわからないから運ぶのは多くても2人までにしたい?みたいな

ハサン:「では行きますわー」

ハサン:2D6+3 合計:14 <6,5>+3

GM:また無駄(1)目を引くワズ

フリリネ:「すいぞー」

ハサン:「助走、助走がダイジネ」

デューイ:「さすが兎だな」

クリス:「さすがですね」

フリリネ:「あ、そうだな。チザギナ」

GM:じゃあ、次はフリリネ

フリリネ:(プレイヤー発言) △GM 助走つけて飛び越えてもいいですか?

GM:ん、うけはロープ伝うんだよね?

フリリネ:(プレイヤー発言) あっそうか。普通にロープでいきますー!

GM:それに目標値8なら1ゾロ以外成功でしょ、フリリネ

フリリネ:2D6+5 合計:10 <4,1>+5

GM:ほむ成功。

フリリネ:「ぶーっ」

リン:(プレイヤー発言) とうとうとでランタンと殿下を拾って助走つけて飛びます!!

デューイ:ぐっ(サムスアップ)

GM:△リン 便利だなあ風の翼

デューイ:(プレイヤー発言) リルトライいですよねー

フリリネ:(プレイヤー発言) リルトライいなー

リン:(プレイヤー発言) 戦闘用のはずなんだけどなー

GM:(やはり魔法で集中砲火か……)

デューイ:(プレイヤー発言) なんか怖い」と考えてるw

フリリネ:(プレイヤー発言) △GM 怖い

GM:ごやまあ、一般論としてね?

GM:さて、川を越えたあたりで、奥の方から話し声が聞こえます。大声などで判定なくきこえます

フリリネ:「む、何か…」

GM:ただ、意味は…あ、デューイとハサンが分かる。

GM:汎用蛮族語ですね。

デューイ：(プレイヤー発言) ようやく蛮族か…

リン：「えーっと…。」やはりリスク水を着てきてよかった。泳ぐのが楽だ』だってぞ。」

GM：<リン なんてWWW

プラリネ：「なんと…蛮族が水着…。」

デューイ：「適当言っつなw」

クリス：(プレイヤー発言) <リン「えっええっ。(混乱中)

GM：「おい、まだ食えんのかーはら入ったぞー」「まだですよー」「早くしねえとお前食っぞー」「きやあー」「みたいなかんじ。」

デューイ：「なんか料理してるっぽいな」

プラリネ：「そうなのかい」

デューイ：「早く食いたいかまだだとか言ってる」

GM：あと、何かと何かをぶつける音。「ーんーんがんがんみたいいな

クリス：「じっち」気付いてないなら、「のま魔法を打ち込みましよう」

リン：GM：「お前スク水とか何言ってるんだー」「スキキだろー」「スク水最高ですよー」「ってるせえ」「スキー」着せんで」「きやあー」「みたいなかんじ。」

GM：<リン そんな」』は言ってるなWWW

プラリネ：「レベル高いな蛮族ー」

ハサン：(プレイヤー発言) WWW

クリス：(プレイヤー発言) <リンぶっつて」』つなつたWWW

GM：やっぶっつてますっ。

作戦会議の結果、魔物の正体がわからない以上、がっちがちに守りを固めて急襲するしかない  
とっつ結論」。

クリスがフィールドプロテクション、ハサンはカンタマ&プロテク。

言葉から相手が蛮族である可能性を考え、クリスは突入後すぐに《バニッシュ》、ハサンも敵次第  
ではフアナティンズムをとなえるという手はずになった。

GM：じゃあ突撃ですねっ。

ハサン：「ロヤンフーー」

プラリネ：「うむっ」

クリス：(プレイヤー発言) 詠唱で気付かないとは、よっぽど周りが見えてないのか

GM：<クリス ガンガン叩いてるしねえ

GM：まあ、皆さんがガシヤガシヤいいながら部屋に入ると流石に気づきました。

リン：「そこまですー貴様達の行ってきた数々の狼藉、今こゝで清算するべしっー」「サッ

リン：(プレイヤー発言) ただし伝わらない

プラリネ：「金は払えっー」

プラリネ：(プレイヤー発言) 言っただけ言うだけ

GM：はい、では、魔物知識判定をどうぞ。セージ技能レベル+知力B+2D  
1回：(トコロ×10)

GM：大はレッサーオーガ、小さいのはゴブリン×3体です。

GM：レッサーオーガはちよつと普通より強そつ

デューイ：「れ、レッサーオーガ……」

プラリネ：「魔法くるな」

GM：では先制判定行きましょう。「こちらの先制値は13

なんと」で全員が失敗。これは先手足られたかと思いきや……

クリス：リックの効果を使って振り直す！

クリス：2D6+3 合計：14 <5,6>+3

デューイ：(プレイヤー発言) おおっ

リン：(プレイヤー発言) おー

ハサン：(プレイヤー発言) これはかつぎ……

プラリネ：(プレイヤー発言) >クリス かつぎすぎ……

リン：(プレイヤー発言) 流石ルロスカ

デューイ：(プレイヤー発言) いい仕事です

ちえ、後ろから魔法撃ちたかったなあ。

クリス：「ル＝ロウド様、ありがとうございます」

プラリネ：「すごい神様だなっ」

クリス：(プレイヤー発言) ハサンは支援か、前線へスパークか？

ハサン：(プレイヤー発言) >クリス では結果次第で考えますー

クリス：蛮族全員へバニシム

クリス：2D6+5 合計：10 <3,2>+5

GM：全員抵抗ーやたッ

クリス：「くっ……効きませんか」

ハサン：ならば【範囲拡大<数>】でリンとプラちゃんにファナティズム

GM：ムッ

ハサン：2D6 合計：5 <2,3>

GM：はじかかった。それぞれ命中+2、回避-2のセットね

プラリネ：「っおおおお」これは当る気がするーありがとっ……」

プラリネ：(プレイヤー発言) 前出てー応キヤッツアイー

GM：そちら、弱点抜いてるから命中+1ね

プラリネ：(プレイヤー発言) レサオガに必殺攻撃ーいきますー！



GM:「ムンク」

プリンネ:2D6+9 合計:18 <6,3>+9

GM:あたりの声ー

ハサン:(プレイヤー発言) ガクガク

プリンネ:「うんぬん」

プリンネ:R28C9+5 合計:7 <[2,1]>=<2>+5

GM:5ト2ト1,5C1た

プリンネ:「んん」

デューイ:(プレイヤー発言) ああ…

プリンネ:(プレイヤー発言) まわらないなー

リン:(プレイヤー発言) ま…まあ逆なら外れてたんだし…

GM:次はリン。

ハサン:(プレイヤー発言) 必殺のデメリットがかばって消えるってことですねー、ロベロのほうで

リン:(プレイヤー発言) うむす。ビートル→制圧前進→かばう→尻尾をオーガに

プリンネ:(プレイヤー発言) すごく助かるー

リン:(プレイヤー発言) 翼はまだいいかなー

GM:ハノン、了解。「ハノンの回避率12

リン:2D6+7 合計:16 <3,6>+7

GM:あつたー

プリンネ:(プレイヤー発言) やっちゃえー

リン:R11C12+6 合計:9 <[6,1]>=<3>+6

リン:「ネスズン」

GM:7点か…ちよひ痛く

GM:次はデューイ。

デューイ:はさ「エネボくぐぞー」もちろんレサオに

デューイ:2D6+5 合計:13 <4,4>+5

GM:抵抗ー

デューイ:くそつ…ギリギリ足りなかった

デューイ:R10C10+5 合計:8 <[2,5]>=<3>+5

デューイ:4声ー

GM:うはぐえ、痛むものは痛んだよねあ

GM:じゃあ「ハノンの手番ですねー…ちよひもよまじ攻撃ですね(泣)

プリンネ:(プレイヤー発言) ですねー

GM:まずはれつちーが、殴ります。痛かったリンの方に。

GM:ハノン 12、ダメージ受けるもあ

リン:2D6+1 合計:3 <1,1>+1

プリンネ:(プレイヤー発言) オワフ

リン：(プレイヤー発言) 「じゃーん…防御フアンブルなくてよかった  
ハザン：「ロシユ、ドブツイダデー」

GM：ではダメージを。

GM：2D6+4 合計：16 <6,6>+4

リン：(プレイヤー発言) ！?

デューイ：(プレイヤー発言) きまぐたーん

GM：\デューイ 俺も驚いたWWS

リン：「あたし…」

リン：(プレイヤー発言) ダメージ57ーん

プリンネ：(プレイヤー発言) しかし5点

クリス：(プレイヤー発言) 固っ…さすがメイン盾

リン：(プレイヤー発言) 期待値なら止められる。が6ゾロは無理だと思つます

GM：べすん、じゃあプリン左からABCがなべります。

プリンネをかばっているジョモあり、プリン3体の攻撃は全部リンに命中。だが…

プリンネ：(プレイヤー発言) ダメージ…1

GM：うへうへうへ

デューイ：(プレイヤー発言) すっげー

プリンネ：(プレイヤー発言) かつらぶる…

リン：(プレイヤー発言) カギーンツカギーン

クリス：(プレイヤー発言) リルトラまじパネエム

GM：えーん。学習した。次は魔法つかう。

プリンネ：「リンツすまないって…大丈夫そうだなっ」

リン：「めっちやぐちやゆーだよー」

GM：2ターン目…そちがぶるわー…

クリス：もう一回バニシング…

クリス：2D6+5 合計：15 <5,5>+5

GM：きやああああああ

プリンネ：(プレイヤー発言) やっためっああめっあ

デューイ：(プレイヤー発言) きたー

GM：効果4回振って。

クリス：効果、レッサー、ABCの順で8回振ります

クリス：8D6 合計：20 <5,2,5,1,1,3,2>

GM：7'6'2'5か

クリス：Bがバーサーク、他が判定ー

リン：(プレイヤー発言) 当てやすくなったー

ハサン:(プレイヤー発言) スパークうつていいかこや?

クリス:(プレイヤー発言) ハサン、せめてプロテクションしてからこつて

GM:ハクリス、これでリンにプロテクションなんてされた日には悲鳴あげてるわwww

クリス:(プレイヤー発言) そうか、リンはHPで、プリリネは高抵抗だから巻き込んでも大丈夫な可能性が高いのか。

プリリネ:(プレイヤー発言) 抵抗すりゃいいかー

ハサン:ハGM、ではスパークにしますー

プリリネ:(プレイヤー発言) 抵抗するー

ハサン:(プレイヤー発言) 巻き込まれない1人を1d振りますね

ハサン:1リン 2プリ 3レスサラー 4A 5B 6C

ハサン:1D6 合計:1<1>

プリリネ:(プレイヤー発言) おっ！

ハサン:(プレイヤー発言) ホッ

デューイ:(プレイヤー発言) うい感う

ハサン:2D6+6 合計:9<1,2>+6

GM:抵抗したー

ハサン:R0C13+6 合計:8<3,4>=<2>+6

デューイ:(プレイヤー発言) ぐぬぬ...

ハサン:(プレイヤー発言) 残念ー

GM:でもプリは弱点で+2だから6点

プリリネ:(プレイヤー発言) いえーごー

デューイ:(プレイヤー発言) 割と行くもんですねw

GM:もっかい来たたら危うく戦線崩壊

GM:次は誰かな?

デューイ:エネボいきますー

プリリネ:ハデューイ (プレイヤー発言) やっちゃえ！

デューイ:じゃあレスサラーガで

GM:ぶいぞ。抵抗はー

デューイ:2D6+5 合計:8<2,1>+5

デューイ:R10C10+5 合計:8<2,4>=<3>+5

GM:抵抗ー「ふたふたふたふたふた」

デューイ:「うなへそー」

プリリネ:「調子に乗るなよ食い逃げめ」

プリリネ:(プレイヤー発言) レサオガに必殺攻撃行きます！

GM:来なやごー回避は11

リン:「へんへちむーるへーるへちむーる」

プリリネ:2D6+9 合計:13<2,2>+9

GM:「へちむーる」

GM:ダメージシミュレーション…

フリリネ:(プレイヤー発言) ダメージ…

フリリネ:R28C9+5 合計:13 <[2,6]>=<8>+5

フリリネ:(プレイヤー発言) 回復…

GM:すっぴんく痛く

リン:「がっおん…」

フリリネ:「やっつこまえリン…天誅だ…」

リン:(プレイヤー発言) 盾捨てて両手持ち…かばう…風の翼起動…

リン:(プレイヤー発言) もちろん槍でオーガに攻撃

GM:ハンン ユンズ…回避率11

リン:2D6+7 合計:10 <2,1>+7

GM:あせ

リン:「なん…だよ…」

クリス:(プレイヤー発言) ダイス神…

フリリネ:(プレイヤー発言) オラ

デューイ:(プレイヤー発言) 「JJ」…

GM:じゃあJJの番

GM:まずはレサオガが《リープスラッシュ》

GM:対象はJで決めよ。(「ロフロ」あ、フリリネだ。

フリリネ:(プレイヤー発言) JJ…

クリス:(プレイヤー発言) 一番抵抗するJJJJ

GM:ハクリス JJのwwフリリネ JJ抵抗JJ

フリリネ:2D6+9 合計:18 <6,3>+9

フリリネ:(プレイヤー発言) トヤ

デューイ:(プレイヤー発言) シキレウかつ…

GM:じゃあね…連続JJダメージ

GM:R20C13+5 合計:11 <[4,4]>=<6>+5

フリリネ:半減JJ6 合計:5

フリリネ:「ん…」

リン:「だごうせ…」

リン:(プレイヤー発言) FP…

GM:あ、すっぴん。すっぴんで減点JJおっぴん

フリリネ:おっぴん…

GM:「お、フリリネ

GM:対象はおっぴん同JJ偶数ならフリリネ、奇数ならリン

GM:3D6 合計:9 <2,6,1>

リン：(プレイヤー発言)「一回そっちにいってしまったー」

リン：(プレイヤー発言)「…Bのかばつよー」

プレイヤー、リンともにダメージを受けるが、1、2点と軽傷。

リン：「あたし」

GM：ともあれ手番終了ーこのラウンド目、そちらの番。

このラウンド目は、クリスがキュアー・ウーンズを1ゾロしたり、プレイヤーがダメージを与えるもわずかにEFGの3つたり、リンが盛大に攻撃を外したりとダイスの気まぐれが目立つラウンドになった。

しかし、それも長くは続かないわけで…。

デューイ：レッサーオーガに《エネルギー・ボルト》！

リン：(プレイヤー発言)「抵抗抜いたー」

GM：Jの上なぐくくくつております

ハサン：(プレイヤー発言)「ウエーイ」

クリス：(プレイヤー発言)「いけええええええ」

デューイ：R10C10+5 合計：6 <[1,3]>=<1>+5

デューイ：セーフー

GM：レサオガ「ぐわあああああああああああー」「ずずーん。

プレイヤー：(プレイヤー発言)「いやったあああああ」

デューイ：「やまあみやがれー」

プレイヤー：「やっつたーあはは…」

GM：あ、そうするとプレイヤー達は「降参します…」

プレイヤー：「うっ心がけたなー」ニヒ

ハサン：「ゴキンスムン言ひてるよー」

GM：元々戦意が高いわけじゃなかったんですよ。レッサーオーガが腹いせにこき使ってたし。

プレイヤー：(プレイヤー発言)「無理やり水着だもんね…」

GM：へプレイヤー それはちがうww

デューイ：へプレイヤー (プレイヤー発言)「それはもつらうww」

クリス：(プレイヤー発言)へプレイヤー ww

## 6. お仕事達成！

デューイ:「で、魚は？」

GM:あ、はい。その「転がってます。ぜんぶで10匹

リン:(プレイヤー発言)と、「この」ことで水着を着せた後に、「二度と人里に近づかないことを誓わせて解放？」

プリリネ:「リン(プレイヤー発言) そうしようかwww

GM:「ゴブ」水着、着なきやダメゴブか・・・」

デューイ:「着んでいっww」

クリス:「まずはお魚を回収ですね」

プリリネ:「だな」イナイ

GM:はい、さすがに魔法の影響のある氷、中身は無事です。

GM:「これ食べよう」と叩いたりしてみたい

リン:「おったかららおったかららら」

プリリネ:魚拾って「これは・・・この武器に」キーン

デューイ:「つまみ食いはダメだぞ」

クリス:「村に戻ってから調理しまっしょ」

GM:では剥ぎ取りはじまなだが？

デューイ:「あそこか」

ハサン:(プレイヤー発言) 変転もちの殿下かなー

プリリネ:(プレイヤー発言) ですねー

リン:(プレイヤー発言) そのうえば切ってなかった!?

GM:じゃあデューイ、リナ ABC の順で 2d6を

デューイ:「すっかりわすれたw」

デューイ:(プレイヤー発言) はーん

デューイ:2D6 合計:7 <4.3>

デューイ:2D6 合計:8 <5.3>

デューイ:2D6 合計:7 <4.3>

デューイ:2D6 合計:12 <6.6>

デューイ:変転いらんかった...

プリリネ:(プレイヤー発言) 相変わらずすげいな

リン:(プレイヤー発言) 変転の切りようがない...

リン:とりあえずオーガは 1d6ね。

GM:じゃね

デューイ:1D6 合計:6 <6>

デューイ:.....

プリリネ:(プレイヤー発言) おいおいwww

デューイ:(プレイヤー発言) 最後に爆発してしまったw

クリス:(プレイヤー発言) やるなあw

GM:銀貨袋(30G)x6 武器(30G) x 2 護符を凝らした武器(150G)じゃね

プリリネ：(プレイヤー発言) 私に分けてくださいわ  
GM：あ、もうひとつ。

GM：レッサーオーガから剣のかけらが2個。

プリリネ：(プレイヤー発言) いえーいー

デューイ：「おお、これが剣の欠片…」

プリリネ：「しごとはずだ」うんうん

GM：あ、それとゴブリン達ですが、布きれ集めて水着っぽくした後、奥の穴から這う這うの体で逃げました。

リン：「いや、レッサーオーガは強敵でしたね…」

プリリネ：(プレイヤー発言) ^GM WWS

デューイ：「なんなんだあいつらは…」

クリス：(プレイヤー発言) ネットを拾ってるWWW

GM：その奥の穴ですが、外につながっています。

プリリネ：(プレイヤー発言) パッと行く？

リン：(プレイヤー発言) サッと行く？

GM：あ、ただ外には出られないです。崖なんでWWW

プリリネ：(プレイヤー発言) あらら

リン：(プレイヤー発言) 1人がいっしょに…

GM：崖の下には大きな川が流れています。

GM：で、そつたなーレンジャーの人。

リン：(プレイヤー発言) レンジャー…

GM：レンジャー+知力B+2D振ってみてください。何かキラキラしてる。

リン：2D6+2 合計：12 <4,6>+2

GM：それな、よくきりわかるWWWあのね、

GM：キラキラしてるの、マーモンのタマゴ。

デューイ：(プレイヤー発言) おおー

リン：「…あ、あれは、タマゴ…」

GM：どうやら、川の川、マーモンの隠れ繁殖地だったようです。

クリス：「卵って…あ的高级食材…?」

GM：ぶつちやけ、サケの放流地みたいなWWW

リン：「JJからじゃ行けなうけどねー」

プリリネ：「…す、いんじゃないか…」興奮…

デューイ：「これは、報告すれば今回の損失を取り戻せるかもな」

ハサン：「天然ものデスネー」

GM：そうですね、村の人にとつても大助かりでしょう。

プリリネ：「報告だ…」

GM：どうつわけで、村に戻ります。

プリリネ：(プレイヤー発言) JJまで村人が来れるか問題だが

クリス：(プレイヤー発言) 地元民しか知らない裏道があるに違いない

リン：(プレイヤー発言) もちろん川は魚10匹前後とフンタンと殿下を持って行ったよ…

GM：>リン 了解ですWまあ、時間経てば回復しますしね

プレイヤー：(プレイヤー発言) リンかつ「よすぎやわー

デューイ：「くるしゅうな」

プレイヤー：(プレイヤー発言) サカナに囲まれる殿下

デューイ：「…生臭」

プレイヤー：「文句言つな」

デューイ：「べん」

GM：ではみなさんは村に戻った後、事の顛末とマーモンの繁殖地のことを村長に話し、報酬の各自400Gに加え、200Gとマーモン料理をいただきました

GM：あ、200Gも各自ね。つまり合計600G

プレイヤー：(プレイヤー発言) いえーじ…

リン：(プレイヤー発言) わーい…

デューイ：(プレイヤー発言) ばんぎーい

クリス：(プレイヤー発言) 大成功っ！

プレイヤー：(プレイヤー発言) クリスに借金返す…二倍で…

リン：(プレイヤー発言) よって、私たちの仕事は大成功したといえるだろう。

クリス：(プレイヤー発言) 3\*2で6Gね、了解W

プレイヤー：>クリス 「遅くなったすまない。これでいいもの食べて欲しい」6Gチャリーン

クリス：>プレイヤー 「ありがと、また一緒に稼ぎに行きましょっね」

GM：では今回の経験点は120点、剥ぎ取り品は合計430Gだから…

プレイヤー：(プレイヤー発言) 結構倒したな

GM：デューイの宝石も売っちゃおうっ。

リン：(プレイヤー発言) 440であるよ。誤差だけど。

デューイ：売っちゃおう売っちゃおう。持っても仕方ないし

プレイヤー：>クリス 「ああ、ありがたい…」

GM：じゃあ、割り切れるように合計950Gで

GM：各自600G足した後、あと190G足りてくれたよ。

プレイヤー：(プレイヤー発言) 一気に金持ち…

GM：かけら振りたい人…

プレイヤー：(プレイヤー発言) 遠慮する

クリス：(プレイヤー発言) 同じく遠慮します(ニゾ怖い)

リン：(プレイヤー発言) クリティカルだせなかったしな

ハサン：じゃあ一個のチャコ

プレイヤー：(プレイヤー発言) うん

GM：よし

デューイ：>フンタンフンタン



ハサン:ID6 合計:4 <4>

GM:もう一個はc.

デューイ:じゃあ僕が

ハサン:「ロビン:アブスタダナー」

デューイ:ID6 合計:6 <6>

デューイ:……………今日はおかつ

プリンネ:(プレイヤー発言) どうなってるんだーい

リン:(プレイヤー発言) アイテム運がすごいのう

ハサン:「参りませー」

GM:では全員、名譽点10ゲットです

クリス:(プレイヤー発言) なんて強運だw

プリンネ:(プレイヤー発言) いえーい……

デューイ:「ふふん」

GM:ではH。ローグ。

GM:「ついで、小さな村の危機を一つ救った黒の切り札亭。

GM:懐かしの宿に帰ると、そこに待っていたのは見慣れたトーフの店主。

GM:これからも「店」には助けを求める声があるのだから

GM:だが、心配はいらない。「」には頼りになる「冒険者」がいるのだから……

GM:とっつわけシナリオ終了です！おつかれさまでした！